

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- ICT 活用による取引先の業務効率化への支援
 - ・3D-CAD/CAM 連携による生産準備業務の効率化
 - ・KOM-MICS 等の生産システム活用による製造現場の見える化（設備稼働率向上）
 - ・EDI 改善、新見積システム等を通じた情報共有化による間接業務の効率化 等
- 各種教育カリキュラム、教育施設の提供を通じた取引先の人材育成への支援
- 取引先のサステナビリティ（持続可能性）向上への支援
 - ・地球環境に配慮した「グリーン調達ガイドライン」を取引先と共有、連携による環境負荷低減
 - ・取引先の生産工程、サプライチェーンの低炭素化に向けた技術協力
 - ・環境規制等の法令順守に向けた支援
 - ・人権に配慮した企業活動の取組への支援
- ウエルネス（健康）に関する情報発信による取引先の健康経営向上への支援
- 競争力の維持・向上のための安全/品質/納期/原価改善活動の支援

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を 遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。中小受託取引以外の企業間取引についても、取引上の立場に優劣がある企業間での取引の適正化を図ります。

3. その他（任意記載）

- 当社では、経営層を含むグループの全社員が現場や職場で永続的に継承すべき価値を「コマツウェイ」として取りまとめ、その伝承と定着を図っています。
「コマツウェイ調達編」では、取引先各社を対等なパートナーと位置づけ、相互の切磋琢磨を通じて Win-Win の関係を構築することを最優先の課題として規定し、日々の業務の中で、その実践に取り組んでいます。
- 「ホワイト物流」に関する自主行動宣言を表明済みです。
- 直接の取引先だけでなく、サプライチェーンの更に先まで価格転嫁が可能となるような価格決定を行い、その旨をサプライチェーンの隅々まで伝わるよう情報発信します。

○当社が関わるサプライチェーン全体の共存共栄のため、直接の取引先をはじめ、
サプライチェーン全体へのパートナーシップ構築宣言の普及を図ります。

2020年8月19日

(2024年4月25日更新)

(2025年1月20日更新)

(2025年7月16日更新)

(2026年1月13日更新)

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

株式会社小松製作所 代表取締役社長 今吉 琢也

企 業 名

役職・氏名（代表権を有する者）